（本號千部）　（明治二十七年六月十五日郵便報知新聞第一號ノ二ヲ以テ郵便物認可）　明治二十七年六月十五日　第三千九百九十五號　（定價金二錢五厘）

時事新報

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

明治廿七年六月十五日　金曜日（戊子）
太陽暦甲午五月十二日
月出入　日出入
午前午後　午前午後
晝夜　晝夜
潮　時　時　時　時
一四　二五　一四　二五
二一　二一　二一　二一
三四　十三　十三　十三
十四　十三　十三　十三
一千八百九十四年）
百六十六日
百九十九日
年始より年末まで

時事新報の特派員

朝鮮國東學黨の內亂は追々其勢力を增して今は同政府も容易に討平する能はざるのみならず暴徒は諸要地を占領して既に京城を距る二十有餘里の地に迫りたりと云ふ事態頗る穏かならざるを以て本社は八重山艦に便乘を請ひ特に社員高見龜氏を朝鮮に派遣したり本社は豫て京城に派遣しある通信者にも特に照會する所あり且つ特派員も既に出發したる事なれば今後東學黨騷亂の模樣は電信を以て郵便を以て續々時事新報紙上に顯出すべし倘ほ騷亂の模樣に依りては引續き社員の特派を要すべきを以て本社は豫め部署を定めて後報の到るを待つ

本紙の七月附錄

本社は既に六月の附錄を讀者に配布したり來る七月の初旬に第四回として發行する附錄は

渡邊文三郎氏の　富士

時事新報

密獵の取締

北海道千島近海に於ける露虎密獵の事は近來我國人の注意する所と爲りて其取締の法に就て云々するものあれども政府に於ては其獵期の間、僅に一隻の小軍艦を派遣し恰も申譯的の取締を爲すに過ぎず我輩の遺憾に堪へざる所なり抑も外國の密獵船が北海道は申す迄もなく或は奧州金華山の近海にも出沒して恰も日本の漁場を占領し年々非常の利益を收むるは隱れもなき事實にして我國の不利益の上もあるべき可き彼の露虎の漁場は白令海の邊より我北海道の近海に連る一帶の海岸海面にして世界の漁獵者は悉く此方面に集まるものとなれども英國と云ひ米國と云ひ露國と云ひ何れも其近邊に土地を有して領海の近邊に他の漁獵を禁じ其取締甚だ嚴重にして時としては之が爲めに國際上の交渉談判を生ずる程の次第なるが故に密獵を事とするものは次第に放逐せられて北海道の近海に集まり今は殆んど日本の領海を以て世界唯一の密獵場否な公獵場と爲すものの如し近着の倫敦タイムスに記載したる左の一項の如き其情況を見るに足る可し

英領コロンビヤなるヴヰクトリヤ府駐在の米國領事が昨年八百九十三年の露虎獵に關する報告中に云へるあり曰く英領コロンビヤより露虎獵地に赴きたる獵船は五十六隻、獵獲の皮數はピウゼットサオンウンドより出でたる獵船の分をも合せて七萬六千八百七十五枚にして從來になき多額なり而して倘ほ此外に乘港及びプリーロップ嶋より出でたる獵船幷に露國露虎商會の手より乘港に荷揚したるもの四萬三千三百六十六枚あり本年に在りては加那陀の獵船は多く日本の近海へ向け出帆したるが茲に一の掛念は日本政府が外國の漁獵者に對する暴動の如何に在り是等の漁獵者は日本を最後の漁場と頼ひものにして若しも此漁場より放逐さるゝときは英米兩國の窮屈なる取締法に牽束せられて漁獲の方法も更に一層の練習を要するのみならず移轉極りなき獲物の所在を探索する爲めに殆んど免許の獵期を費すが如き困難を感ぜざるを得ざるに至る可しと彼等の口に する所なり昨年露虎獵に從事したる加那陀船の噸數は總計三千七百四十四噸にして乘組員は白人八百六名、土人四百三十二名、一隻の獵獲高最も多きものは二千七百七十二枚なり云々

此報告の文に據るも彼の密獵者が日本を以て唯一の漁場と爲し其取締の行屆かざるに乘じて大に利益を見る可し或は他の密獵を防ぐには我遠洋漁業を奬勵して彼と競爭せしめ自然に之を放逐するみ肝要なり取締の法を設けて厲行するときは動もすれば他國と交渉の事端を開き易く時としては國際の談判も免るる可らず唯事を滋くするのみにして實際に利する所は少なかる可しとの說もなきに非ず我漁業を奬勵して領海の漁利を收むるは素より必要の手段にして假令ひ取締の法を嚴重にして他の密獵を禁制するも日本の漁業にして盛ならざるときは毫も利する所はある可らず遠洋漁業の奬勵法決して怠る可らずと雖も然りと雖も一方に於て密獵の取締は一日も等閑に付するを得ず彼の露虎とても決して無盡藏の動物に非ず殊に時期にも頓着せずして恰も其發育期に漁獲さるゝときは次第に減少して遂には其跡を絶つにも至る可し我國の爲めには永遠の利源を奪はるゝものにして假令ひ一方に漁業を奬勵して數年の後には彼と競爭するの望みありとするも我漁場は既に彼等の爲めに散々に荒らされて收獲を減ずるの掛念あるのみならず若しも今日の儘に放任して毫も制限を加へざるに於ては數年間の習慣、自から既得權を彼等に與へたる如き姿を成して之を回復するみと容易ならざるに至る可し取締の法、一日も等閑に付す可らざる所以なり斯くて其法を設けて之を厲行するには今日の如く一隻の小軍艦にて足る可きに非ず漁獵の時期には少なくも三四隻の軍艦を出して嚴重に警邏せしむるみと肝要なる可し彼の密獵船の乘組員の如きは多くは世界の無賴漢にして法を怖れざる者共なれば若しも取締の法を犯して我領海の區域內に闖入するときは一歩も假さずして其船を拘留し時宜に據りては之を砲擊するも可なり或は時としては之が爲めに交渉事件を生じて國際の談判と爲り又は他國の仲裁々判を仰ぐ等の事も出來するみとならん其曲直は假令ひ何れに決するも是種の出來事は寧ろ密獵者をして我威力に恐縮せしむるの結果ある可し唯進んで斷行するを以て利益と爲す可きのみ今日に當り嚴法を設けて國利を永遠に保護するは政府の職分として我輩の敢て催促する所なり

官報

○勅令

朕土木技監ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治二十七年六月十三日

內閣總理大臣　伯爵伊藤博文
內務大臣臨時代理
司法大臣　芳川顯正

勅令第六十六號

內務省ニ土木技監一人ヲ置ク土木技監ハ大臣又ハ次官ノ命ヲ承ケ土木局ニ屬スル技術上ノ事項ヲ掌理シ及直轄土木事業ノ施行並ニ地方土木事業ノ監督ニ關スル技術上ノ事項ニ付土木監督官長ヲ指揮ス

大藏大臣　渡邊國武

○大藏省令第十二號

明治二十三年(二月)大藏省令第三號國稅徵收法施行細則左ノ通改正ス

明治二十七年六月十四日

國稅徵收法施行細則

第一條　國稅徵收法第八條ニ依リ市町村ニ對シ稅スル徵稅令書ハ第一號

第二號　樣式ニ依リ各納稅人ニ對シ稅スル徵稅令書ハ第三號樣式ニ依ルヘシ

第二條　府縣知事ハ徵稅令書ヲ收入官吏ニ送付シ收入官吏ハ收入簿及徵稅簿ノ各員定額欄內ニ其金額ヲ記入シ徵稅令書ハ直チニ市町村長又ハ各納稅人ニ交付スヘシ

第三條　府縣知事ハ徵稅令書發付ノ後、納期以前ニ於テ其市町村ノ納額ニ異動ヲ生シタルトキハ滿キノ徵稅令書ヲ更正スヘシ

第四條　市町村長ハ前條ノ徵稅令書發付ノ後納期以前ニ於テ各納稅人又ハ納額ニ異動ヲ生シタルトキハ滿キノ徵稅令書ヲ更正スヘシ

第五條　市町村長ニ於テ稅金ヲ金庫ニ納付スルトキハ第四號樣式ノ納付書ヲ添付スヘシ

第六條　各納稅人ニ於テ稅金ヲ金庫ニ納付スルトキハ徵稅令書ヲ添付スヘシ

第七條　收入官吏ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ收入簿現金出納簿及徵稅簿ニ其金額ヲ記入シ出納官吏現金取扱規則第十五條第十六條ニ依リ金庫ニ納付ス

第八條　收入官吏ハ會計規則第二十七條ニ依リ徵稅簿ヲ收入簿ノ通知書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ收入簿及徵稅簿各收入欄額欄內ニ其金額ヲ記入スヘシ

第九條　府縣知事ハ會計規則第二十七條ニ依リ金庫ヨリ收入官吏ニ納付ニ係ル稅金領收證書ノ通知書ヲ受タルトキハ之ヲ調査シ適宜候簿ヲ設ケテ其金額ヲ記入シ置クヘシ

第十條　徵收法第六條第二項ニ依リ稅金ノ徵收猶豫ヲ請ハントスル者ハ被害ノ實況ヲ詳ニシ府縣知事ニ願出ヘシ

前項ノ願出アリタルトキハ府縣知事之ヲ調査シ徵收ノ猶豫ヲ與ヘキモノト認ムルトキハ大藏大臣ニ稟申スヘシ

第十一條　分任收入官吏ハ收入簿及徵稅簿ニ依リ明治二十六年大藏省令第三十二號第四號書式ノ報告書及本則附屬樣式第五號ノ納期別內訳表ニ調製シ歲入金決算表ノ添ノ翌月五日迄ニ其地ノ差立主任收入官吏ニ送付スヘシ

第十二條　主任收入官吏ハ分任收入官吏ヨリ送付シタル收入報告書ニ依リ收入簿ニ其金額ヲ記入シ更ニ之ヲ總計シタル收入報告書及納期別內訳表ニ調製シ歲入金月計對照表ヲ添ノ府縣知事ヲ經テ翌月十五日迄ニ其地ノ差立大藏省ニ送付スヘシ

第十三條　收入官吏ハ第六條第七號樣式ノ徵稅簿第八號樣式ノ繰越額整理簿ノ內ニ調定減額收入猶額缺損額及繰越額等ヲ記載シ之ヲ整理スヘシ(樣式略ス)

○大藏省令第十三號

明治二十二年(八月)大藏省令第十號特別輸出港規則施行細則左ノ通改正シ本年七月一日ヨリ施行ス

明治二十七年六月十四日

大藏大臣　渡邊國武

特別輸出港規則第二條ニ依リ外國船ノ願入ヲ出願スル者ハ第一號書式ノ願書ヲ大藏大臣ニ差出スヘシ

特別輸出港規則施行細則

第一條　外國船舶ニ乘組ム外國人ノ朝鮮ハ六箇月以內トス

第二條　二人以上共同シテ外國船ヲ雇入レントスルトキハ其雇入願書ニ各署名捺印シ又代人ナルトキハ雇主及代人ノ住所氏名ヲ詳記シ代人之ニ捺印スヘシ但代人ナルトキハ其委任狀ヲ添フヘシ

第三條　雇入ノ願書ハ第一號書式ニ訂正願書ハ第三號書式ニ依ルヘシ

第四條　雇入外國船仕出港ノ入港ノ期日切迫シ仕出港稅關出張所ニ電報ヲ請ハントスル者ハ其入港日ヲ雇入願書ニ追記出願スヘシ

第五條　外國船舶雇入免狀ヲ亡失シタルトキハ直ニ其事由ヲ具シ大藏大臣ニ屆出ヘシ

外國船舶雇入免狀ニ記載シ若クハ免狀ニ記載ノ事項中變更ヲ生スルトキハ其再願又ハ訂正ヲ大藏大臣ニ出願スルコトヲ得

前項ノ再願書ハ第二號書式ニ訂正願書ハ第三號書式ニ依ルヘシ

第六條　外國船舶雇入免狀ハ仕出港稅關ニ差出シ其事由ニ入出港年月日ノ記入及證印ヲ受クヘシ

第七條　外國船舶雇入ノ期限經過シ又ハ其使用ヲ了スルトキハ直ニ其雇入免狀ヲ返納スヘシ

第八條　雇入外國船使用濟ニ付テ船舶ニ對スル規則ニ違背スルトキハ直ニ雇入ノ許可ヲ取消シ其雇入免狀ヲ返納セシムヘシ

第十條　第五條第一項第六條及第七條ニ違背スル者ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ罰金ニ處ス

(願書式略ス)

○文部省令第十二號

工業教員養成規程ヲ定ムルコト左ノ如シ

明治二十七年六月十四日

文部大臣　井上毅

工業教員養成規程

第一條　實業教育令第十二條ニ基キ徒弟學校及工業補習學校教員ヲ養成スル爲ニ工業教員養成所ヲ東京工業學校ニ置ク

第二條　工業教員養成所ニ本科ト補習科トヲ置ク

第三條　本科ノ修業年限ハ二箇年トシ補習科ノ修業年限ハ一箇年トス

第四條　本科ノ修業年限ハ二箇年トシ補習科ノ修業年限ハ一箇年トス

補習科ノ修業年限ハ一箇年トス

第五條　本科ニ入ルヘキ生徒ハ工業教員養成所ニ學資ヲ補給シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スル者ニシテ年齡十七以上ニシテ身體強健ニシテ品行方正ナル者ニ限ル

入學生ノ一部ハ地方長官ヨリ推薦シタル者ニシテ品行方正ナル者ニ限ル

補習科ニ入ルヘキ生徒ノ資格ハ別ニ之ヲ定ム

第六條　本科生徒ハ卒業ノ日ヨリ一箇年以內ニ從事スルノ義務ヲ有スル者トス

本科生徒ハ卒業ノ日ヨリ一箇年以內ニ從事スルノ義務ヲ有スル者トス

ニ於テ指定スル學校教員ノ職ニ從事スルノ義務ヲ有スル者トス

方ニ於テ試驗スヘキ學校ナキ場合ニ於テハ其地方ノ學校ニ從事スルノ義務ヲ有スル者トス

第七條　**補習科生徒ハ本科生徒ノ日ヨリ一箇年以內ニ從事スルノ義務ヲ有スル者トス**

但シ補習科生徒ハ本科生徒ノ日ヨリ一箇年以內ニ從事スルノ義務ヲ有スル者トス

第八條　學資ヲ貸與シタル者ハ其卒業ノ日ヨリ一箇年以內ニ從事スルノ義務ヲ有スル者トス

學資ヲ貸與シタル者ハ其卒業ノ日ヨリ一箇年以內ニ從事スルノ義務ヲ有スル者トス

第九條　本規程ハ明治二十七年度ヨリ施行ス

文部省令第十二號參照

法律第二十一號實業教育費國庫補助ニ關スル件

第一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第三十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第三十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第三十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第三十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第三十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第三十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第三十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第三十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第三十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第三十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第四十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第四十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第四十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第四十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第四十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第四十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第四十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第四十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第四十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第四十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第五十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第五十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第五十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第五十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第五十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第五十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第五十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第五十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第五十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第五十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第六十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第六十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第六十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第六十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第六十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第六十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第六十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第六十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第六十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第六十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第七十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第七十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第七十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第七十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第七十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第七十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第七十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第七十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第七十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第七十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第八十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第八十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第八十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第八十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第八十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第八十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第八十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第八十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第八十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第八十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第九十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第九十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第九十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第九十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第九十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第九十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第九十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第九十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第九十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第九十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百二十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百二十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百二十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百二十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百二十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百二十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百二十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百二十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百二十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百二十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百三十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百三十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百三十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百三十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百三十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百三十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百三十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百三十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百三十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百三十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百四十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百四十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百四十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百四十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百四十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百四十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百四十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百四十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百四十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百四十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百五十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百五十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百五十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百五十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百五十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百五十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百五十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百五十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百五十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百五十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百六十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百六十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百六十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百六十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百六十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百六十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百六十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百六十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百六十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百六十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百七十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百七十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百七十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百七十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百七十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百七十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百七十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百七十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百七十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百七十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百八十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百八十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百八十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百八十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百八十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百八十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百八十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百八十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百八十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百八十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百九十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百九十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百九十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百九十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百九十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百九十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百九十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百九十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第百九十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第百九十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百十七條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百十八條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百十九條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百二十條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百二十一條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百二十二條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百二十三條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百二十四條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百二十五條　實業教育ノ獎勵ヲ圖ルタメ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百二十六條　公立ノ工業學校ニ對シ其費用ノ補助ヲ與フ

第二百二十七條　實業教育ノ